

令和5年度

(令和5年4月～令和6年1月)

第3期 あずましプラン 実施報告書

令和5年度評価	
基本目標1	4.0
基本目標2	4.0
基本目標3	3.9
基本目標4	4.0

令和6年3月7日 (木)
月形町社会福祉協議会

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	①あずましプラン推進会議の運営 (4.1)
目的・目標	地域住民・関係機関・団体等と協働し、計画に定める具体的な事業推進に関し、あずまし計画の進行状況の確認と評価を適時実施して、町民へ周知をする。そのために、策定委員会の委員を中心に、その委員会の名称を「あずましプラン推進会議」に変更する。
実施内容 (令和5年度)	令和5年10月13日 第1回あずまし推進会議 17名委員出席 内容: 第3期あずましプラン上半期実施報告 令和5年度町民フォーラム(案)について 令和6年3月7日 第2回あずまし推進会議 内容: 第3期あずましプラン評価について 意見交換
次年度に向けて	継続

事業名	②中核となる町内会や各団体との事業の連携 (3.8)
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。
実施内容 (令和5年度)	令和5年6月28日 月形町社会福祉協議会運営協議会 12名出席 内容: 月形町社会福祉協議会事業実施状況・法人運営状況について 町内のボランティア活動について 意見交換「各町内会や団体の現況や社協への要望について」
次年度に向けて	継続 <協議会の意見> ・除雪に関すること ・町内にある空き家が増えていること ・町内会の件数が減り役員の担い手がないこと ・各団体でお願いされる負担金をまとめて請求してもらいたいこと →上記意見を踏まえ、社協で各機関と検討し、行政区の負担の少ないように、改善できることからしていきたい

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	③町民フォーラム (4.4)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和5年度)	令和5年11月25日(土) 63名出席 内容:今年度の事業中間報告～あずましプランの進捗状況～ ワークショップ「いまどきのボランティアの魅力を語ろう」 ミニトークセッション「わたしを生きる」
次年度に向けて	継続 引き続き、町民の意見を聞く場として開催していきたい。

事業名	④子ども・未来・まちづくりサミット
目的・目標	町の子どもたちに、町の福祉について興味を持ってもらうことを目標とする。
実施内容 (令和5年度)	実施できていない
次年度に向けて	継続 小中学校の福祉総合学習やボランティア活動の協力を行い、子ども目線で地域福祉を考える機会として、町民フォーラムの場などでサミット開催を考えたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑤認知症サポーターの養成と活躍の場づくり (3.9)
目的・目標	近年、高齢化に伴う認知症高齢者の増加が社会問題となっているが月形町においても同様である。認知症の方々が、安心して地域で生活ができるよう、認知症について正しい知識をもち、本人や家族を応援するボランティア「認知症サポーター」の養成を行いながら、認知症の方々の活躍の場づくりについて考えていく。
実施内容 (令和5年度)	12月19日 月形町老人クラブ連合会「健康教室」29名参加 内容:「認知症を学ぼう」 講師:保坂 昌知氏
次年度に向けて	継続 小中学生の総合学習や町内の働き世代などの若年層に向けて開催を検討していきたい。

事業名	⑥小・中・高校生における福祉総合学習 (4.2)
目的・目標	町内の福祉事業所と協力し、総合学習を通して月形小・中・高校の生徒が福祉やボランティア活動に興味関心をもち、町内の福祉の現状や仕事について積極的に考えてもらう。
実施内容 (令和5年度)	小学校1年生 10月3日 あずまし茶屋参加者との交流① 12月5日 あずまし茶屋参加者との交流② 小学校3年生 10月25日 車椅子体験 10月31日 手話体験 11月1日 アイマスク体験 小学校5年生 11月10日 雪の聖母園就労支援センターオプス 見学・体験(作った作物を加工している 工程について学ぶ)
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑦ボランティアスクール (4.1)
目的・目標	小学生以上を対象とし、ボランティアについての知識や理解を深め、これからの地域福祉の担い手となるボランティア育成とボランティア活動の啓発・普及・活発化を推進する。
実施内容 (令和5年度)	8月26日(土)ボランティアスクール(夏) 38名参加 内容: 講話「月形町のごみの取り組みについて」 講師 播谷 達樹氏(月形町役場住民課生活環境係 係長) グループワーク「月形町のごみについて」 11月11日(土)ボランティアスクール(秋) 54名参加 内容: 「大地の侍」上映会・講話 講師: 一般財団法人HAL財団 3名
次年度に向けて	継続 担い手となるボランティアが不足していることもあり、事業の開催内容、回数などについて運営委員会で検討したい。

事業名	⑧アクティブボランティア (3.6)
目的・目標	今後、高齢者が介護や支援が必要になっても、出来る限り住み慣れた地域で安心して暮らすために、様々な団体による支援などが一元的に提供される「地域ケアシステム」の構築が求められている。そのためには、高齢者自身やその周囲の地域住民の協力が不可欠であり、住民主体の支援体制作りの担い手を養成する。
実施内容 (令和5年度)	・今年度もボランティア活動や研修会等に参加している方々を対象に事業参加するとアクティブボランティア養成を修了とする。 (ふれあいサロン、世代間交流会、福祉講演会等に参加している方々を対象とする。) ・今年度は3名の方が修了。
次年度に向けて	継続 引き続き、修了者を増やせるよう、町民が気軽に参加できる仕組みづくりを行いたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑨世代間交流会 (4.2)
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していけるよう働きかける。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・8月3日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」 26名参加(老人クラブ6名、日赤奉仕団2名、更生保護女性会1名、民生委員児童委員1名、法人・役場職員10名、月形高校生2名、社協4名) ・9月9日(土)第2回世代間交流会「フラワーアレンジメントとお楽しみ抽選会」 54名参加(老人クラブ7名、学童保育きららクラブ13名、友朋の丘2名、雪の聖母園5名、どようびサロン利用者3名、一般町民1名、推進委員7名、講師2名、社協4名) ・10月29日(日)第3回世代間交流会「ハロウィンを楽しもう！」 37名参加(日赤奉仕団2名、更生保護女性会1名、手作り友の会3名、月形小学校3名、月形中学校4名、老人クラブ6名、どようびサロン利用者5名、推進委員9名、社協4名)
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>担い手となる人材が不足していることもあり、事業の開催内容、回数などについて協議会で検討したい。</p>

事業名	⑩地域での顔の見える付き合いづくり (4.1)
目的・目標	身近な地域の困りごとや悩み事など、地域住民の声を聞くことで福祉ニーズを把握し、地域の福祉問題や課題に対し、解決に向けた仕組みづくりや対策について、地域住民とともに協議し、協働していく。
実施内容 (令和5年度)	<p>地区サロンの定期的開催(令和6年1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤川1ふれあいサロン 月1回開催 延べ95名参加 ・市南ふれあいサロン 月1回開催 延べ123名参加 ・赤川3ふれあいサロン 月1回開催 延べ81名参加 ・市北6ふれあいサロン 月1回開催 延べ108名参加 ・北農場1ふれあいサロン 月1回開催 延べ151名参加 ・土曜日サロン 月2回開催 延べ158名参加 <p>地区サロンによって自主運営が出来ている。</p>
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>サロンが自主運営できるよう協力していきたい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

1. あしたをしなやかに生き抜く暮らしを創る福祉でまちづくり	
事業名	⑪生活支援のための人材育成と活躍の場づくり (3.6)
目的・目標	地域福祉を支える地域住民による生活支援の知識やスキルを高め、支え合いの体制を強化するとともに人材を発掘する。
実施内容 (令和5年度)	令和5年11月24日(金) 7事業所15名参加 「北海道キャリアパス支援事業」より補助金を受けて開催。 内容:「チームビルディングを学ぶ」 講師:船木幸弘氏(藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授) ・生活支援協議会 ちよびボラ活動状況 4件 ボランティア14名登録
次年度に向けて	継続 高齢者が気軽に参加できる場づくりや町民に向けての情報などを周知を行っていききたい。

事業名	⑫スキルアップ研修 (3.5)
目的・目標	福祉の担い手となる方々のスキルアップ向上を図るため、町内福祉施設職員等を対象に、福祉職員としてのスキル等を学ぶ。今後、互いに協力し月形町の福祉を支えていくための仲間づくりを行う。
実施内容 (令和5年度)	令和5年11月24日(金) 7事業所15名参加 「北海道キャリアパス支援事業」より補助金を受けて開催。 内容:「チームビルディングを学ぶ」 講師:船木幸弘氏(藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授)
次年度に向けて	継続 年々参加者が減少しており、開催内容、回数などを協議会で検討していききたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	①心配ごと相談・福祉総合相談 (3.5)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和5年度)	総合相談2件 (家族の所在について、有償運送サービス・見守りサービスについての相談) 特例貸付(コロナ関連)相談3件(電話3件) 心配ごと相談0件
次年度に向けて	継続

事業名	②サロンでの普段着相談 (3.7)
目的・目標	集いの場において、気軽に相談できる場を提供し、住民と一緒に情報提供体制を整える。
実施内容 (令和5年度)	各地区サロンで実施中 内容:参加者とサロンの年間内容について協議・相談を実施 サロン開催時に、日頃の生活の悩み等について傾聴
次年度に向けて	継続 引き続き、サロン参加者からのニーズなどを聞く体制に整えていきたい。

事業名	③地域の防災対策の把握
目的・目標	大規模災害への防災対策に向け、町内会等を中心とした災害前中後の支援体制の確認や、駐在所との支援体制の確認を行う。また、福祉施設との災害時の情報共有と対策の強化を図る。
実施内容 (令和5年度)	令和6年3月27日実施予定 内容:BCP計画、災害ボランティアセンター訓練
次年度に向けて	継続 年1回の定期的開催としていく。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	④「見守り推進事業」の対象者への支援 (3.9)
目的・目標	災害時に、見守り推進事業の対象者に的確な指示ができるよう、日頃から行政区や見守りサポーター等と情報交換をしながら連携強化を図る。
実施内容 (令和5年度)	見守り対象者40名(前年度より5名減)(令和6年1月末現在) 見守りサポーター6名
次年度に向けて	継続 対象者について民生委員・行政区長・関係機関等との情報交換などを行っていきたい。

事業名	⑤福祉施設との連携強化 (3.5)
目的・目標	町内は福祉施設が多数あり、災害時等の地域住民の受け入れについて連携強化するとともに、支援体制のネットワークづくりを進めていく。
実施内容 (令和5年度)	基本計画2-③再掲
次年度に向けて	基本計画2-③再掲

事業名	⑥あずまし食堂の運営 (4.6)
目的・目標	参加者やボランティアが一同に介して楽しく食事をするることによって、食生活の改善及び健康の増進、並びに地域社会との交流や孤独感の解消、閉じこもり防止を図ることを目的とする。
実施内容 (令和5年度)	・あずまし食堂 参加者延べ392名 月1回第3木曜開催 4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、9月21日 10月19日、1月18日、2月15日、3月21日予定

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑦世代間交流会 (4.4)
目的・目標	現代の社会情勢では、地域社会において世代間の交流機会が減っている。世代を超えて様々な人々と関わることは、こどもの学びや成長、高齢者の喜びや生きがいがいづくりに繋がり、地域の方々と協力し支えあう経験を通し、豊かな人間関係を育み、成長していけるよう働きかける。
実施内容 (令和5年度)	基本計画1-⑨再掲
次年度に向けて	基本計画1-⑨再掲

事業名	⑧フードバンクの設置
目的・目標	住民同士の役割を支え、地域の居場所づくりをつなぐサロンや食堂等へ食べ物を通して食と人を繋げる役割とする活動を行う。
実施内容 (令和5年度)	実施できていない
次年度に向けて	実施に向け、町内の農家などと協力していける仕組みづくりを協議・検討・周知していきたい。

事業名	⑨町内会でのサロン (4.5)
目的・目標	気軽に楽しくおしゃべりをしたり、健康体操・子育ての相談・情報交換・趣味活動などを通して、地域の中での居場所作りや仲間作りを行う。
実施内容 (令和5年度)	<p>地区サロンの定期的開催(令和6年1月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤川1ふれあいサロン 月1回開催 延べ95名参加 ・市南ふれあいサロン 月1回開催 延べ123名参加 ・赤川3ふれあいサロン 月1回開催 延べ83名参加 ・市北6ふれあいサロン 月1回開催 延べ108名参加 ・北農場1ふれあいサロン 月1回開催 延べ151名参加 <p>サロンによっては自主運営が出来ているところもある。</p>
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>引き続き、自主運営ができる仕組みづくりを行っていきたい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑩土曜日サロン(障がい者) (4.4)
目的・目標	地域で障がいのある方を対象に、社会参加や交流の場づくりを目的とする。サロンの中で個々の役割を持ち、やりがいのあるサロン活動を運営する。
実施内容 (令和5年度)	・土曜日サロン 月2回開催 延べ220名参加
次年度に向けて	継続 参加範囲を広げ、在宅で障がいのある方や施設利用者もサロンに招待できる仕組みづくりをしていきたい。

事業名	⑪まんまるカフェ (4.4)
目的・目標	子育て中の親子が、子育てに関する考えや悩み等を情報交換しながら交流を図ることを目的とする。また、地域のボランティアとの交流によって子育て中の孤独感を解消し、子育てを楽しみ、育児者の心を休めることも目的とする。
実施内容 (令和5年度)	7月29日(土)第1回子育てサロン「まんまるカフェ」 内容:「水遊び・子ども縁日」 参加者:25名 10月21日(土)第2回子育てサロン「まんまるカフェ」 内容:「みんなで、ハロウィン!!お菓子をゲット!!」 参加者:10名 12月6日(水)第3回子育てサロン「まんまるカフェ」 内容:「サンタさんからのクリスマスプレゼント配布会」 参加者:41名
次年度に向けて	継続 参加者、開催内容などについて検討していきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑫男の料理教室 (3.7)
目的・目標	どこの家庭にもありそうな食材を使用し、家庭料理を作り、参加者の「生活力」に自信をつける。料理をしたことのない方も気軽に参加できる内容で、健康的な食生活を習慣に出来るよう、正しい食材の選び方や栄養学などの知識を身につけることを目標とする。
実施内容 (令和5年度)	令和5年12月15日(金)「第1回 男の料理教室」6名参加 令和6年1月19日(金)「第2回 男の料理教室」7名参加 令和6年3月15日(金)「第3回 男の料理教室」(予定)
次年度に向けて	継続 参加者、開催内容などについて検討していきたい。

事業名	⑬オープンサロン
目的・目標	あずまし拠点(温泉ホテル)を活用し、自主的グループ集いを支援する。
実施内容 (令和5年度)	温泉ホテル工事中
次年度に向けて	要検討(拠点探し等)

事業名	⑭月形温泉ホテルを拠点とするあずまし交流プラザの運営(4.1)
目的・目標	共生社会の創造を目指し、町民が主体的に運営する拠点づくりと、誰もが気軽に協働しながら交流する仕組みづくりを行う。
実施内容 (令和5年度)	<p>・あずまし食堂 延べ392名参加 4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、9月21日 10月19日、1月18日、2月15日、3月21日(予定)</p> <p>・あずまし茶屋 延べ192名参加 4月4日、5月2日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日 10月3日、11月7日、12月5日、2月6日、3月5日(予定) ※令和5年度より第1火曜日開催変更</p> <p>6月より温泉ホテル工事のため、交流センターで開催</p>
次年度に向けて	要検討(拠点探し等)

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑮地域見守り推進事業(町受託事業)(4.2)
目的・目標	町全体で見守りの体制づくりを行い、孤立化や孤独死の未然防止を図ることにより、安心して住みなれた地域で暮らしていける体制づくりを行う。高齢者が気軽に相談できる場所(相手)を確保し、見守り事業を通して孤立化を防止し、さらに地域での自然なかたちで声かけや隣近所のつながりの強化を図る。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り実績(令和6年1月末現在) 見守り対象者40名(前年度より5名減) 見守りサポーター6名 ・見守り担当者会議 毎月1回実施(参加者:保健福祉課、居宅介護支援、社協) ・見守りサポーター意見交換会:4回(4月、7月、10月、2月)
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>対象者について民生委員・行政区長・関係機関等との情報交換などを行っていきたい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑩生活支援コーディネーターの運用(町受託事業)(4.0)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター1名 社協配置し活動中 ・生活支援協議会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 令和5年7月21日(金) 内容 ・生活支援コーディネーター活動報告 有償ボランティア「ちょびボラ」モデル事業実施状況 ・意見交換 <li style="padding-left: 40px;">有償ボランティア「ちょびボラを広めるために必要なこと」 第2回 令和6年2月26日(月) 内容 ・有償ボランティア「ちょびボラ」の実施状況報告 ・高齢者等生活支援協議会の役割・あり方の説明 ・意見交換(グループワーク) <li style="padding-left: 20px;">「有償ボランティアちょびボラ」について <ul style="list-style-type: none"> ・ちょびボラ活動状況 4件 ボランティア14名登録 ・研修関係 <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度生活支援コーディネーター連絡会議(オンデマンド配信視聴) ・あずまし食堂 延べ392名参加 4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、9月21日 10月19日、1月18日、2月15日、3月21日(予定) ・あずまし茶屋 延べ192名参加 4月4日、5月2日、6月6日、7月4日、8月1日、9月5日 10月3日、11月7日、12月5日、2月6日、3月5日(予定)
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>ちょびボラ事業を町内全域で実施していきたい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

2. じっくりと受け止める暮らしに生きる仕組みづくり	
事業名	⑰検討委員会の運営とモデル事業の実施 (3.6)
目的・目標	住民主体による在宅ケアづくりを進めるために、在宅ケアの方法やみんなで考える機会や場づくりを進めるとともに、支え合う一つの方法として「サービスの有償化」について考える。
実施内容 (令和5年度)	・令和5年3月よりちょびボラのモデル事業実施 パンク修理 2件、台所掃除 1件、浴室清掃 1件
次年度に向けて	継続 ちょびボラ事業を町内全域で実施していきたい。 自主実施に向けて検討していきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	①情報提供および相談 (3.6)
目的・目標	気軽に相談し、情報提供が受けられる仕組みづくりの体制をつくる。
実施内容 (令和5年度)	・気軽に相談ができる窓口の工夫をして実施している ・サロンの普段着相談等で情報提供を行っている
次年度に向けて	継続

事業名	②福祉除雪サービス(町受託事業)
目的・目標	高齢者や障害者世帯へ冬期間の除雪が困難で、支援が必要な世帯に対し、除雪サービスを実施し、日常生活の維持及び緊急時における避難経路の確保を図るとともに、高齢者等の世帯の経済的支援及び冬の暮らしの安全確保を行う。
実施内容 (令和5年度)	令和5年10月27日 福祉除雪サービス打合せ(サトニクラス、福祉課、社協)委託先はサトニクラス 登録人数 41名(前年度よりー2名)※括弧内は前年の実績数 12月 実施人数 15名(11名) 延べ件数 39件(42件) 1月 実施人数 11名(9名) 延べ件数 24件(25件)
次年度に向けて	継続 除雪をする担い手不足、高齢化などにより、担い手不足を解消するため、町とも協議を検討したい。

事業名	③配食サービス(町受託事業)
目的・目標	高齢者が食に関し、自立した生活が送れるよう、その必要なものに対し、定期的に食事を届けることにより、食生活の改善を通じて健康保持を図るとともに安否の確認、配食を通じてコミュニケーション及び高齢者の福祉の向上を目的とする。
実施内容 (令和5年度)	・配食利用人数 ※括弧内は前年の実績数 4月:27名(19名) 5月:27名(19名) 6月:28名(20名) 7月:28名(22名) 8月:30名(22名) 9月:29名(22名) 10月:28名(24名) 11月:27名(24名) 12月:27名(23名) 1月:28名(24名) ・配食総数3,692食(2,449食) ・行事弁当5月1日、9月8日、12月22日、3月1日(予定) ・5月8日から週5回の利用開始
次年度に向けて	継続 週5回になったことで利用者が増加し、配食を届けるボランティアが不足しているため、配送方法などについて検討していきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	④福祉有償運送 (4.6)
目的・目標	満65歳以上及び心身の障がい並びに疾病等の理由により歩行が困難な者や移動の制約を受ける者に対してリフト式車両及びセダン型車両による移送サービスを提供し、福祉の向上を図ることを目的とする。
実施内容 (令和5年度)	・利用会員登録数:93名(98名) ※括弧内は前年の実績数 ・利用回数 4月:59回(63回) 5月:64回(75回) 6月:65回(68回) 7月:69回(59回) 8月:71回(43回) 9月:61回(61回) 10月:74回(60回) 11月:60回(58回) 12月:80回(65回) 1月:63回(50回)
次年度に向けて	継続

事業名	⑤日常生活自立支援事業(道社協受託事業)
目的・目標	高齢や障がいにより日常生活の判断に不安のある在宅で生活している方への福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスをし、権利擁護の視点から日常生活支援を行う。
実施内容 (令和5年度)	・利用件数 4月:3件 5月:3件 6月:3件(モニタリング調査実施) 7月:3件 8月:3件 9月:3件 10月:3件 11月:3件 12月:4件(モニタリング調査実施) 1月:2件 ・研修関係 10月10日~11月10日 令和5年度日常生活自立支援事業 生活支援員研修(オンデマンド配信) 10月31日(火)開催 令和5年度 日常生活自立支援事業 生活支援員・自立生活支援専門員・指揮監督者研修(Zoom)
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑥心配ごと相談・福祉総合相談窓口の周知 (3.7)
目的・目標	広く住民の日常生活上のあらゆる相談に応じて、適切な助言、支援を行い、福祉の向上を図る。また、福祉専門職による福祉総合相談では、関係機関との連携し、解決していけるしくみ作りを行う。
実施内容 (令和5年度)	総合相談2件 (家族の所在について、有償運送サービス・見守りサービスについての相談) 特例貸付(コロナ関連)相談3件(電話3件) 心配ごと相談0件
次年度に向けて	継続

事業名	⑦生活福祉資金貸付(道社協、月形社協)
目的・目標	貸付制度が利用できない低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談・支援により経済的自立と生活の安定を目指す。道社協で行っている貸付制度では、町社協が相談窓口となり民生委員の相談窓口を行う。また、月形社協協の貸付制度では、緊急一時的な貸付についても対応を行う。
実施内容 (令和5年度)	・特例貸付(コロナ関連)相談1件(電話1件) コロナ特例貸付:緊急小口資金 完済者2名、未完済者7名 総合支援資金 完済者1名、未完済者7名 ・月形町社協貸付0件 ・毎月、道社協より通達あり
次年度に向けて	継続

事業名	⑧生活支援体制整備事業 (4.0)
目的・目標	高齢者世帯が増えている中、生活支援、介護サービス、高齢者の社会参加を地域全体で考えながら支援していくことを目指し、コーディネーターの配置や、協議体の開催を行い、地域包括ケアシステムを作っていく。
実施内容 (令和5年度)	基本計画2-⑩再掲
次年度に向けて	基本計画2-⑩再掲

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑨生活支援コーディネーターの運用 (3.9)
目的・目標	高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす。
実施内容 (令和5年度)	基本計画2-⑩再掲
次年度に向けて	基本計画2-⑩再掲

事業名	⑩生活支援サービスの整備、充実・生活支援サービス(有償含む) (3.4)
目的・目標	介護保険サービス外の生活支援サービスについて有償での在宅福祉サービスのあり方を検討するとともに、社協における有償サービスを推進し、多様なニーズに対応した生活支援の充実を実現する。
実施内容 (令和5年度)	5月、7月 各1名実施(買い物サービス)
次年度に向けて	継続 引き続き、住民周知などを行っていきたい。

第3期 あずましプラン実施報告書

3. まごころと笑顔がはじける暮らしを彩るサポートづくり	
事業名	⑪訪問介護、居宅介護、移動支援、地域活動支援センター
目的・目標	介護保険法、障害者総合支援法に基づき、入浴、排泄、食事の介助、移動その他生活全般にわたる介護や支援を行う。地域活動支援センターは障がい者の日中活動の場として創作活動、余暇活動支援を行う。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護、居宅介護、移動支援 ○高齢者(介護) <ul style="list-style-type: none"> 4月10名、5月10名、6月12名、7月12名、8月13名 9月9名、10月12名、11月10名、12月10名 1月10名 ○高齢者(総合事業) <ul style="list-style-type: none"> 4月5名、5月5名、6月5名、7月5名、8月5名 9月5名、10月5名、11月5名、12月4名 1月5名 ○障がい者 <ul style="list-style-type: none"> 4月12名、5月12名、6月14名、7月12名、8月13名 9月13名、10月14名、11月14名、12月14名 1月14名 ・地域活動支援センター 利用者8名 ・共生デイサービス 支援センター利用者2名
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	①町民フォーラム (4.5)
目的・目標	急速な少子高齢化・人口減少により、家族形態の多様化やコミュニティ機能の低下など、公的な制度だけでは解決できない様々な福祉課題が発生している。そのような社会情勢に伴う福祉課題に対し、今後の月形町の地域福祉について課題を共有し町民と共に考えることで、互いに支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを推進する。
実施内容 (令和5年度)	基本計画1-③再掲
次年度に向けて	基本計画1-③再掲

事業名	②福祉情報の提供 社協だより「ふれあい」の発行(年4回) ホームページ(SNS・Facebook)等での情報発信 (4.0)
目的・目標	地域住民、関係機関へ地域福祉推進のための情報を提供し、事業の協力、協働を行っていける体制づくりを目指す。
実施内容 (令和5年度)	・広報誌社協だより「ふれあい」 7月、10月、12月発行 3月予定 ・ホームページ更新(毎月5日) ・Facebook随時更新中
次年度に向けて	継続 ツイッター(現エックス)等の運用開始検討

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	③地域の実態や福祉ニーズの把握、支援のあり方など情報の共有化と活動、民生児童委員協議会への参加 (3.9)
目的・目標	地域の福祉実態やニーズ、問題等について、関係機関との共有を図り、地域福祉の推進を進めていくためのネットワーク作りを行う。また、民生委員・児童委員との協力体制を強め、それぞれの地域課題について解決できるようにしていく。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員協議会への参加 5月、7月、8月、11月、12月、1月出席 ・見守り事業の情報提供と連携
次年度に向けて	継続

事業名	④社協の基盤整備、あずましプランの推進、地域包括ケアシステムの構築 (4.0)
目的・目標	経営組織や財務規律の強化、地域における公益的な取組み実施等が求められる中、今後の事業、組織運営のあり方を見据え必要な対応を図りながら住民からの福祉のまちづくりへの期待に応えるため、より一層の事業推進を行い、理解と協働を得ながら地域福祉の仕組みづくりを目指す。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員12名(正職6名、嘱託3名、パート3名) ・外部業者による任意監査を定期的実施
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑤地域福祉ネットワーク推進協議会の実施、福祉団体・関係機関等との連携 (4.5)
目的・目標	住民福祉に関する事業及び活動のより活性化と効率化を目指し関係団体、機関並びに住民相互の連携を図り地域福祉の一層の推進を強化する。
実施内容 (令和5年度)	<p>□地域福祉ネットワーク推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 5月19日(金) 21名参加 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体、行政区代表 内容:令和4年度事業・決算報告、令和5年度事業計画・予算、令和5年度新任研修会について、令和5年度第1回世代間交流会について、意見交換 ・第2回 7月28日(金) 18名参加 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体、行政区代表 内容:令和5年度新任職員研修会開催報告、第1回世代間交流会進捗状況について、意見交換 ・第3回 9月27日(水) 18名参加 参加者:各福祉施設等職員、学校教諭、ボランティア団体、行政区代表 内容:第1回世代間交流会・第2回世代間交流会開催報告、令和5年度キャリアパス支援研修進捗状況について、第3回世代間交流会について協議、推進委員研修について協議、意見交換 ・第4回 3月下旬(予定) <p>□新任職員研修(施設、企業、行政等) 25名参加 6月30日(金) 参加者:各福祉施設等職員、町内企業従業員 内容:1000人パレード参加、樺戸博物館見学、グループワーク、交流会</p> <p>□世代間交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月3日(木)第1回世代間交流会「スマホ教室」 26名参加(老人クラブ6名、日赤奉仕団2名、更生保護女性会1名、民生委員児童委員1名、法人・役場職員10名、月形高校生2名、社協4名) ・9月9日(土)第2回世代間交流会「フラワーアレンジメントとお楽しみ抽選会」 54名参加(老人クラブ7名、学童保育きららクラブ13名、友朋の丘2名、雪の聖母園5名、どようびサロン利用者3名、一般町民1名、推進委員7名、講師2名、社協4名) ・10月29日(日)第3回世代間交流会「ハロウィンを楽しもう！」 37名参加(日赤奉仕団2名、更生保護女性会1名、手作り友の会3名、月形小学校3名、月形中学校4名、老人クラブ6名、どようびサロン利用者5名、推進委員9名、社協4名) <p>□スキルアップ研修会 令和5年11月24日(金) 7事業所15名参加 内容:「チームビルディングを学ぶ」 講師:船木幸弘氏(藤女子大学人間生活学部人間生活学科 准教授)</p> <p>□地域福祉ネットワーク推進委員研修 令和6年2月15日(木) 14名参加 内容:月形藤の園、雪の聖母園、月形刑務所に訪問。町内の福祉施設や刑務所の取り組みと見学。</p>
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>事業の開催内容、回数などについて協議会で検討したい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑥ボランティアセンターの充実 (4.4)
目的・目標	住民の主体的な地域活動参加を促進していくために、地域組織の基盤整備や、地域課題に取り組む先進的な活動への支援を行い、活動を通して活動者自身が生きがいを持ち、学びや成長を得られるようにする。また、住民活動により、まちづくりの推進を図っていく。
実施内容 (令和5年度)	<p>・ボランティアセンター運営委員会 5月11日(木) 内容: 令和4年度事業・決算報告、委員長・副委員長の互選について、令和5年度事業計画・予算について、情報・意見交換</p> <p>・6月5日 令和4年度ボランティアセンター通信発行</p> <p>・8月26日(土)ボランティアスクール(夏) 38名 内容: 講話「月形町のごみの取り組みについて」 講師 播谷 達樹氏(月形町役場住民課生活環境係 係長) グループワーク「月形町のごみについて」</p> <p>・11月11日(土)ボランティアスクール(秋) 54名 内容: 「大地の侍」上映会・講話 講師: 一般財団法人HAL財団 3名</p> <p>・12月9日(土)ボランティアセンター講習会 内容: グループワーク、サバイバルクッキング、グループ発表</p> <p>・令和6年3月23日(土)令和5年度ボランティアミーティング 内容: 令和5年度ボランティアセンターの取り組みについて 交流会(軽食バイキング、ビンゴ抽選会) ※予定</p> <p>○令和5年度ボランティア登録状況について 個人ボランティア 67名 団体ボランティア 11団体(月形町赤十字奉仕団、月形更生保護女性会、JA月形町女性部、たんぽぽの会、手作り友の会、月形防犯協会、札比内第1除雪ボランティア、赤川1除雪ボランティア、札比内第3除雪ボランティア、札比内第4除雪ボランティア、刑務所除雪ボランティア)199名 ボランティア活動: 除雪ボランティア、サロン活動、手芸、福祉施設ボランティア活動(エプロン畳み)、配食サービス配送ボランティア、見守り事業見守りサポーター、地域活動支援センター調理、あずまし食堂ボランティア、あずまし茶屋ボランティア等</p>
次年度に向けて	<p>継続</p> <p>担い手不足が課題となっている、町民に向けボランティア活動などを周知をしていきたい。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑦ボランティアによるボランティアの会議 (3.5)
目的・目標	地域包括ケアシステムの推進を進めていく中、ボランティアの必要性は不可欠になっており、団体ボランティア同士の交流を通して、地域福祉推進を図っていく。
実施内容 (令和5年度)	・令和6年3月23日(土)開催予定
次年度に向けて	継続

事業名	⑧ボランティアセンターの自主財源の造成
目的・目標	自主的財源確保の仕組みづくりを考えていく。
実施内容 (令和5年度)	実施できていない
次年度に向けて	検討し、実施予定

事業名	⑨関係法人・団体との事業開発 関係法人と組織したあずまし会議の運営 (3.5)
目的・目標	社会福祉法人等の社会資源を活用した地域貢献活動を支援し、住民ニーズに応えたまちづくりを行う。
実施内容 (令和5年度)	4月20日開催 7法人出席 内容: 法人の運営状況や人材確保や育成について共有 ボランティアの活用について協議。
次年度に向けて	継続

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	⑩法人体制の整備と強化、職員の育成 (3.8)
目的・目標	適切な法人運営のための組織強化をし、会費の有効活用をする とともに介護保険事業等を含めた財源対策、地域福祉活動の一 層の推進を一体的に進めていくための整備を行う。
実施内容 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人体制 理事会: 第1回 6月2日 第2回 6月20日 第3回 9月13日 第4回 12月7日 第5回 3月5日(予定) 評議員会: 第1回 6月20日 第2回 3月22日(予定) ・理事1名増 ・評議員1名増 運営協議会: 第1回 6月28日 ・会費状況 一般会費 1,076世帯(加入率78.4%) 賛助会費 34企業 特別会費 7事業所、個人1名 ・職員体制 正職 6名、嘱託職員 3名、パート3人 計12名 職員研修、会議 毎月1回実施
次年度に 向けて	<p>継続</p> <p>職員減員が続いており、募集をしても来ない状況が続いている。 引き続き、募集を行いながら、職員育成も行っていく。</p>

第3期 あずましプラン実施報告書

4. しあわせはこの手でつかむ暮らしを支えるネットワークづくり	
事業名	①あずましプラン実施計画の作成、実施および見直しさらに改善(4.0)
目的・目標	あずましプラン実施に向け、実施事業・活動を具体的に推進していけるよう実施計画書を作成し、事業の明確化、見直しを各関係機関と共に事業推進を進めていけるようにする。
実施内容 (令和5年度)	<p>第3期あずましプラン2年目開始(4月1日)</p> <p>・会議関係 令和5年10月13日 第1回あずまし推進会議 17名委員出席 内容: 第3期あずましプラン上半期実施報告 令和5年度町民フォーラム(案)について</p> <p>令和6年3月7日 第2回あずまし推進会議 内容: 第3期あずましプラン評価について 意見交換</p>
次年度に向けて	継続、令和6年4月1日より3年目開始